

### 総会雑感

今年はオリンピックの年で、アメリカ大統領選挙の年であり、4年に1度の桑高同窓会関西支部および東京支部の総会の年でもある。本部の幹事総会を含めて私は3度も出席した。

昨年の幹事総会で私は桑高同窓会長に選任された。同時に役員も大幅に若返った。そして同窓会の活性化について、役員会で討議して次の三つのことを心掛けた。

- ① 役員の任務分担を明確にする。また役員間のメーリングリストを立ち上げて、役員間の意思疎通を図る。
- ② 幹事総会の担当を卒業後50年目と40年目の2学年に担当してもらおう。総会で同窓生によるミニ講演を行う。
- ③ ホームページの活用。  
役員会や運営委員会の議事録の公開。私の随想「徳成随風」の掲載。

②の方針をもって今年の幹事総会を2012年10月27日に行ったが、事前の準備・連絡が不十分なため、担当学年の参加が少なく残念であった。

全体の参加者数は58人で昨年よりやや少なかった。その内訳をみると、旧制高女・旧制中学の同窓生の参加が激減してしまったが、その反面に21回生以後の出席が昨年7人に対して今年は13人と増えてきた。とくに若い世代の59・61回生(2009年3月卒)の2人は昨年に引き続いて出席し、さらに60回生が参加したのは喜ばしいことである。

今回の試みによって即効的な効果が得られたとは言えないが、役員会を中心に検証して、出席したくなるような幹事総会にしたい、今後の取り組みを考える必要がある。そのためにも早くから担当学年への働きかけを行い、関心を呼び起こし、新たな提案を期待したい。

関西支部の第7回総会は同年10月28日に行われた。即ち本部総会の翌日で、私をはじめ一部の役員は連日の出席である。場所はKKRホテル大阪であり、環状線の森ノ宮から送迎バスが出ていて、大変便利な場所である。最初に全員の記念撮影を行って後、背後の幕を上げると大阪城が目前に現れた。

参加者数は25人であったが、大半が21回生以前であり、役員構成も高齢化が目立っている。現状のままなら、4年後の総会を行う力が危惧される。ただ注目されたのは35回生(1983年3月卒)の方が会計に選任されたことである。今後は彼を中心として盛り上げてくれることを期待している。

東京支部の第8回総会は2012年11月18日に霞ヶ関ビル35階で行われた。日本の高層ビル第1号として有名なビルであり、35階の会場から富士山も眺められ、国会議事堂や首相官邸が眼下に見える。残念ながら話題のスカイツリーは建物に隠れて見えない。JR新橋駅からタクシーで1メートルの便利な場所である。

参加者数は37人であった。約半数は12回生後であり、しかも女性が目立っている。前支部長は23回生（1971年3月卒）、今回選任された支部長は22回生で、世代交代も進んでいる。事務局長は22回生の女性であって頼もしい。

（※参加者数はいずれも来賓数を含まない。また当日配布された資料に添付された数字であり、当日の実際の出席者数とは多少の違いがあるかもしれない）。

三つの総会ともに共通して感じられることは、「子育て年代」以後の方が殆ど参加していないことである。これは桑高同窓会に限らず、どここの同窓会でも共通している問題のようであるが、今後の継続のために打開しなければならない課題である。それに関西・東京などの大都会では流出入が激しくて、会員を把握できない。プライバシー保護のため昨今は名簿を作ることもできないが、HPなどを通じて広く呼びかけを行うことが必要である。また会員から会員を通じてのミニコミによる連絡が最も有効であろうと思う。

私の学年ではパソコンを使っている同級生間でメーリングリストを作って、常に情報交換を行っている。時には高度の学問的な会話も交わされて、学生時代に戻ったような気分させてくれている。

同窓生のなかには個人や同級生でHPを作っておられる方もあろう。そのようなHPを本部のHPにリンクさせることも良いのではなかろうか。今後の検討課題としたい。

2012.11.21 記